

令和元年度 地域懇談会 報告書

地域名	柏市豊四季台地域ふるさと協議会
日 時	令和元年9月1日（日）午後1時～2時
場 所	豊四季台近隣センター 会議室C
参加者	ふるさと協議会役員等 : 10名 地域づくり推進部長 : 1名 豊四季台近隣センター所長 : 1名 社会福祉協議会職員 : 1名 地域支援課職員 : 6名 市民協働支援員 : 1名 地域づくりコーディネーター : 1名 合計 : 21名
次 第	別紙のとおり
意見 交換	ふるさと協議会役員 ・ 支えあいについて各町会でやってほしいとのことだが、ゴミ出しが大変だとアンケートにも回答がある。あけぼの町会は道路が狭くゴミ収集車が奥まで入れず、集積場が決まってしまう奥に住む人が大変。そういう問題が解消できればゴミの問題も解決される。 ・ 支えあい活動ができる人が少なくなっているのでも考えていただきたい。
	柏市職員 ・ 支えあいにおいてはゴミ出しのニーズが高いが、道路事情や収集の仕方によっても改善できる点があると思う。全てを町会に任せるといっても限界があるということだと思う。
	ふるさと協議会役員 ・ マンション柏サルビアでも高齢化が進み、ゴミ出しや電球の交換など助け合いをやってほしいとの声が出ている。 ・ これから取り組み始めるところで、活動中のけがや事故があった場合の保証や責任は町会にかかってくるのか。 ・ 支えあい活動に取り組んでくれる方を募集しているが若い方がいない。高齢者が高齢者を支えることになる。 ・ 担い手不足についてはふるさと協議会も町会も同じで、70代以上の高齢者が主に活動しており、40代くらいの方もいる。全く繋がりが無いとは言えないが、仕事が忙しくあまり会えない。

- ・マンション内の小学生は4～5人で子供が少なく、お祭りの時だけ孫が遊びに来て子どもが多くなる。
- ・これから話し合っ支えあい活動の中心になる方を決めていく予定だが、高齢者も若い方もお互いに考えないといけない。

柏市職員

- ・マンションの加入促進は、市でも課題として認識している。町会や自治会がなかったり、加入していないところが多い中で、サルビア会の取り組みは共同住宅の中では進んでいる方だろう。
- ・町会内での人の出入りがなく、そのまま町会の年齢層が上がっていくことも課題として受け止めている。

ふるさと協議会役員

- ・マンション柏サルビアでは住人が亡くなってしまった後に、その2代目が入居してくる場合がある。

ふるさと協議会役員

- ・桃山町会に引越して20年だが、2年目で班長となり、その後も町会に絡みながら活動してきた。3年前、会長をやる方がいなくなり、「町会内の行事や人を知っているからやってほしい。」とのことで、会長をやることになった。来年60歳になるが、地域活動の仲間の中で60歳前の方々は少ない。今まで支えてきてくれた方々も、70～80代にもなると、班長は出来ても役員までは出来ないと言っている。
- ・町会は戸建て住宅が100世帯、アパートが50世帯で、合計150世帯があり、ゴミ出しがあるから町会に参加するが、他のことは出来ないという方が多い。
- ・今の町会員は70～80代の頑張ってきた世代の子供の世代に当たるが、引越してしまう方が多く、若い子供がいる家庭が少ない。
- ・親子会も解散しており、親子会で実施されていた行事は町会が肩代わりしている。
- ・隣接するメイツ柏自治会の集会所を借りてお祭りを開催し、桃山町会の子供が9名、千代田橋町会から8名、メイツ柏自治会の子供も多く参加して、50数枚作ったチケットがほぼなくなってしまった。親子会はないが、そこで若い方との繋がりを維持していきたい。
- ・支えあい活動の内容は、春秋の清掃、側溝の清掃、庭木を切る等の

お手伝いで、50代から下の方や80代の方にも協力してもらっている。

- ・11月に役員で懇親会をしているが、今年の一部の役員だけではなく、集会所で食事を作りメイツ柏前の公園（あけぼの公園）でみんなで懇親会をしたい。
- ・防犯については、町内でのぞきが発生したため、12～2月にやっているパトロールを7～8月にも実施して、70～80代の方々が集まってくれた。夜間は若い方々は出られなかった。

柏市職員

- ・秋に集会所で作ったものをみんなで公園で食べながら実施する懇親会は、新しい取り組みなのか。

ふるさと協議会役員

- ・昨年は計画だけで終わっていた。また、春は観桜会という会を5年間ほど実施しており20数名が参加している。

柏市職員

- ・メイツ柏自治会の集会所でお祭りをしたということだが、メイツ柏自治会も別にお祭りを実施しているのか。

ふるさと協議会役員

- ・メイツ柏自治会では実施していない。

柏市職員

- ・お祭りをなくしてしまうところがあるのは残念なことだと思う。
- ・2つの町会で一緒に出来れば、それも良いと思う。
- ・お祭りは地域にとって大きな行事で、子どもたちもお祭りを通して地域をふるさとと感じる、と秋山市長も言っている。地域の負担にならないような方法でお祭りが出来たら良いと思う。

ふるさと協議会役員

- ・町会長になって3年目だが、前会長は8年間務められて体調を崩されてしまい、2年ほどお願いされて不安ながら引き受けた。今ではふるさと協議会の防犯部長も受けている。現役なので、活動できるのは実質土日だけ。町会とふるさと協議会どちらにも迷惑をかけ

- ていると思うが、代わりもいなく、副会長も高齢である。
- ・立地が流山市に近く、柏市の西の端に位置している。近くの桃山町会もそうだが、組織的には豊四季台ふるさと協議会に加入しているが、豊四季台近隣センターを使う機会もないので行事にも参加し辛く、近隣センター自体にも馴染みがない。
 - ・自分たちで企画するにも人数も若い仲間もおらず、高齢化で活性化もしづらい。ひとりで頑張ってもなかなか動けない。
 - ・お祭りが核だと思っている。防犯も支えあいも顔見知りになることで活動が出来る。
 - ・祭りだけは続けているが、担う人が減っている。慣れてきたので段取りは良くなったが、これ以上人が減ると準備が出来ない。
 - ・お手伝いの会を作り、有償でゴミ出しなどしている。
 - ・毎週月曜日にゴミ収集とパトロールをしてもらい、町会から補助を出している。お茶代くらいだが、会計報告もしてもらっている。
 - ・小中学生合わせて12名ほどと増えてきたので、子ども会再開も考えている。
 - ・お祭りで子どもの山車を引っ張ってもらったが、町会内の参加が少なく、周りの町会から来て20倍くらいになる。それに批判もあるが、地域の思い出になると思い継続している。

ふるさと協議会役員

- ・今年からふるさと協議会役員を担当しているので、まだ市にお願いしたいことがわからない。
- ・メイツ柏自治会は150戸を有しており、引越してきて36年だが、単身赴任などで、その半分ほどしか暮らしていない。過去に一度副会長を務めていたことがある。
- ・マンションの理事長と自治会長が兼任だったが数年前に分業され、自治会長だけならと思い、引き受けた。
- ・ゴミ捨てについては、前会長がボランティアで手伝い出来る方を5～6名ほど集めていた。今年も募集したが希望者が1名で、自分と7名でゴミ出し支援をしている。時間が決まっているので仕事をしている方は難しい。仕事を持っている方と持っていない方でチーム編成し、連絡簿を作り今のところやれている。
- ・整備しながら進めていきたいが、高齢化で厳しい。理事会とも相談しつつやりたい。
- ・消防訓練などを実施したくても、マンション前の道路の制約もあ

る。

- ・お祭りや消防訓練などで桃山町会とまとまって出来ること，単独で出来ることの整理，必要なことの整理をしたい。

ふるさと協議会役員

- ・町会在住32年で，町会長は12～13年目になる。分譲の戸建て住宅をはじめとした「柏都民」が多過ぎる。
- ・今年の5月に世帯調査を実施したところ，小学生が5名，中学生が2名だった。高齢化率は62%で320名中148名が65歳以上であった。
- ・前町会長から10年かけてなんとか引き継いだ，周りは開発されても町会の元を広げずやろうとすると高齢化が進む一方。
- ・当たり前のことを当たり前でやれる町会を目指したい。
- ・3年前の調査では40%がUターン組で，父か母どちらか一人になったら介護に帰るという方が多い。今年のUターン組は20%であった。
- ・ゴミ出しも集積所まで行くのが大変とのことだが，運動にもなるから出来るだけ自分でやってもらっており，頼まれるまでは干渉しない。
- ・支えあいの会も立ち上げようとしているが，話し合っても60代と70代と80代でそれぞれ価値観が異なる。今は静観しているところ。
- ・できる範囲だと，食事会などが良いと思う。
- ・町会費で賄う納涼会は，ゲームを楽しみながら食事会をすると200名前後が集まり，ビールを8樽も飲んだ。今年は8月末開催したが，飲み会の時に議論もしてもらおうのが現状。

ふるさと協議会役員

- ・50代後半から町会長を務めており，今年で10年ほどとなる。
- ・気を付けていることは「ふれあい」。訃報連絡や誕生，町会への引越し時などの連絡を自分でやるようにしており，その方が様子が分かるので，その後の繋がりが作れる。
- ・担い手については上手くいっていると思う。
- ・平成26年に『支えあいの会』をつくり，親子ルームをふるさとセンターで立ち上げて，若いお母さんたちが話し合えるようにしたが，「子どもがケガをした時などに責任がとれるのか。」と言われて

やめてしまった。

- ・その代わりに「見守りの班」「パトロールの班」「集いの班」「困りごとを支える班」の4つの班で『支えあいの会』とした。
- ・成果は出ないが困りごとは何十件もある。蜂の巣をとるとか、ゴミ出し、草取りなど出来ることをやっており、草刈り機も購入したりして、コツコツとやっている。

柏市職員

- ・昔、補助金の事業に関連して、西町町会の方々は繋がりがとても良いとあって、感動していたことがあったのを思い出した。

ふるさと協議会役員

- ・こぶしの会の頃だと思う。

ふるさと協議会役員

- ・仏事、誕生、会議の準備などを担当し、こづかいさんをしている。会長ももう一人の副会長も20年、私は30年やっており、担い手不足に困っている。
- ・現在は防災に力を入れており、町会独自で防災訓練を実施しているが、建物が建設されたりして実施する場所がない。
- ・先日パトロールをしたところ、1週間で延べ200名近くが参加した。
- ・空き地には住宅が建設され、小学生は100名を超えている。
- ・火の用心のために年末にパトロールを実施するが、総勢500名が参加し、100名ほどは未就学や小学校低学年の子どもだった。
- ・支えあい会議も行っている。
- ・子ども会は無いが、夏祭りに山車を造って参加。柏第七小学校の八ツ原支部の方々がブースを設けてイベントをやっている。今年からは75,000円を子どもたちのために使ってもらうように用意した。餅つきも子どもたちにやってもらっている。

ふるさと協議会役員

- ・会長と5年間ほど活動している。
- ・夏祭りはゴルフ練習場の中で盛大に実施しており、1,500～2,000名ほどの参加者が集まり、市立柏高等学校の吹奏楽部も来てくれた。

- ・防災セミナーを初めて開き、防災研究会の方を講師として招いたところ、1回ではもったいないとのことで、年に2回勉強会をすることになった。9月20日と来年2月か3月に実施予定。

ふるさと協議会役員

- ・豊四季台団地自治会の上田さんが本日は欠席されているが、町会にも様々な受け止め方、取り組み方がある。
- ・ふるさと協議会は本当は豊四季台団地も一緒にやりたいが、仕方がないところもあり、ふるさと協議会の組織としての改善点もなかなか改善されない。
- ・防犯訓練も大園防災部長を中心に防災拠点としての役割を求めながら実施していることは素晴らしく、意義のある活動と思う。しかし、行政とは少し距離があるため、行政の防災のシナリオに沿って、もう少し協力してできればと思う。
- ・防災訓練にしても町会ごとに差がある。
- ・4年に1回ほど、ふるさと協議会の地域もしくは学校区ごとに防災訓練などを実施できれば防災の意識も高まると思う。なかなか全てをふるさと協議会で実施することは難しいので、お膳立てをお願いしたい。
- ・ふるさと協議会のあり方についてもご指導をいただきたいと思っており、他のふるさと協議会の事例なども参考にしたい。他地域から話を伺うと、ふるさと協議会の役員は40～50名ほどで活動している。豊四季台ふるさと協議会は町会長をはじめ、名簿上で80名ほどがおり、ふるさと協議会各部の部長や各町会長やなどを兼任しながらやっているが兼任は難しく、なかなか新しい人に広がらない。
- ・行政とは仲良くやっているが、今取り組み始めないと今後継続していくことが困難になるだろう。
- ・ソフトボール大会や少年野球大会など、他には無い取り組みにも頑張って取り組んでいる。

ふるさと協議会役員

- ・D51まつりは大事な取り組みなので、今後ご協力などをお願いしたい。
- ・環境部では湧水の取り組みもしており、大切にしていきたいと思っている。市にも協力してほしい。

ふるさと協議会役員

- ・市からの資料の6つのキーワードについて、それぞれに「市として」という欄があるが内容が中途半端ではないか。

柏市職員

- ・「市としてはこう考えている」ということではなく、柏市ふるさと協議会連合会の会議の中で検討を続け、「ふるさと協議会として出来ること」「市にやってほしいこと」というご意見があがったものをまとめたものとなっている。

ふるさと協議会役員

- ・承知したが、分かりにくいから「市へ対する要望」など、分かりやすい表現にしてほしい。

柏市職員

- ・市として「やること」ではなく、「やってほしいこと」ではあるが、市としては力を入れて取り組んでいきたいと考えている。
- ・市として力を入れているのは、まず「ふるさと協議会を知ってもらう」ということ。
- ・豊四季台ふるさと協議会では、今年度こずっち会議（子どもが住みやすい地域にするために会議）を実施していただくが、南部地域で行ったアンケートではふるさと協議会の認知率は4割ほどであった。これを高いと見るか、低いと見るか。

ふるさと協議会役員

- ・高いと思う。豊四季台地域は1割ほどだと思う。

ふるさと協議会役員

- ・柏都民が多いことにも関わってくるが、豊四季台地域は選挙に行く方も少なく、柏市民としての意識付けが必要だが市は対策をどう考えるか。

ふるさと協議会役員

- ・30年前は柏都民だったが、今は柏市民になりつつある。そのことを市としてどのように受け止めて取り組んでいくかが大切だ。

<p>いただ いたご 意見の まとめ</p>	<p>(地域の御意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化で活動のメインが70代。役員のなり手がいない。子どもの数が少なく一桁代の町会が多いとのお話を伺った。 ・防災拠点の整備として、避難所防災訓練に取り組みたい。ふるさと協議会、もしくは学校単位で取り組みたいので市にも協力していただきたいとのご意見をいただいた。 ・豊四季台ふるさと協議会の役員のあり方を見直したいとのご意見を伺った。 <p>(柏市職員の感想)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町会の活動を非常に丁寧に教えていただきました。ありがとうございます。 ・各町会がこれだけのレベルで活動し、全ての町会でお祭りをやっているなど充実している地域は他にはないと思う。素晴らしい。 ・子どもが自分の町会と隣の町会のイベントにも参加していることが面白いと感じた。地域参加の機会が広がる。 ・町会の負担を減らすという意味では、町会のイベントを絞り込んでいくことも良いのではと感じた。 ・町会が単独で行うこと、複数で行うことを考える必要もあるかもしれない。他地域での事例を参考にしていきたい。 ・ふるさと協議会の見直しでは、必ずしも町会長ではなく、町会長以外でふるさと協議会の部会長に就いている地域もある。それら事例を整理し、また機会を設けてお話したい。
------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------